

産業廃棄物処理計画書

5年6月30日

新潟市長様

提出者

住所 新潟県新潟市中央区新光町4番地1

氏名 新潟県知事 花角 英世

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 025-285-5511

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	信濃川下流流域下水道 新津浄化センター
事業場の所在地	新潟県新潟市秋葉区古田ノ内大野開2番地
計画期間	令和5年4月1日から 令和6年3月31日まで

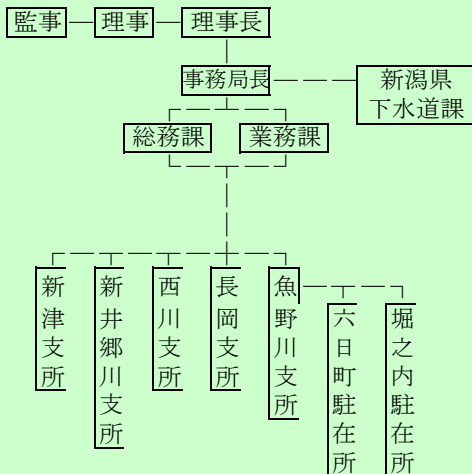
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	下水道処理施設維持管理業 [3631]
②事業の規模	令和4年度処理水量 10,531,136m ³ /年
③従業員数	5人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	(1)汚泥 ・自社で中間処理(消化・脱水) → 処理業者へ委託(焼却後、セメント原料として、もしくは焼して再資源化。またはコンポスト原料とし資源化) ・処理業者へ委託(埋立処分) ・処理業者へ委託(造粒・固化後再資源化) (2)廃プラスチック類 ・処理業者へ委託(破碎後、埋立処分) (3)ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず ・処理業者へ委託(破碎後、埋立処分) (4)蛍光管類(金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず) ・処理業者へ委託(破碎、脱水銀、洗浄・乾燥・選別後、原料として再利用)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

(公財)新潟県下水道公社



総括責任者	組織名：新津支所 役職：支所長
廃棄物担当	組織名：新津支所 役職：支所長 組織人数：1人
役割	<ul style="list-style-type: none"> ○ 廃棄物処理計画の作成 ○ 廃棄物管理状況の把握と改善案の検討 ○ 廃棄物処理施設の運転・維持管理状況の把握 ○ 委託契約の締結 ○ 処理業者、再生利用業者の調査及び管理 ○ 産業廃棄物管理票の交付・管理 ○ 廃棄物の性状分析 ○ 廃棄物発生抑制方法の調査研究 ○ 職員、関連会社に対する教育、啓発 ○ 監督官庁への各種報告 ○ その他関係する事項

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

		【前年度 (4年度) 実績】							
① 現状	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	廃ガラス陶磁器くず	廃蛍光灯				
	排出量	59,930.05 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	t	t	t	t
	産業廃棄物の種類								
	排出量	t	t	t	t	t	t	t	t
(これまでに実施した取組)									
<ul style="list-style-type: none"> ・ 汚泥については消化設備、脱水設備で減量化を図っている。また、汚泥排出抑制技術の実施可能性を検討する。 ・ 有価物となるものはできる限り分別し、使用可能なものはできる限り使用している。 									
		【目標】							
② 計画	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	廃ガラス陶磁器くず	廃蛍光灯				
	排出量	59,413.88 t	0.70 t	0.20 t	0.05 t	t	t	t	t
	産業廃棄物の種類								
	排出量	t	t	t	t	t	t	t	t
(今後実施する予定の計画)									
<ul style="list-style-type: none"> ・ 汚泥については最終処分量を削減するため、発生抑制、中間処理による減量化、再生利用方法の確立等に向けた取り組みが必要である。 									

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 汚泥以外の廃棄物、廃油、廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず等は、発生時に浄化センター内で確実に分別している。
	② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（4年度）実績】									
① 現状	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	廃ガラス陶磁器くず	廃蛍光灯				
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.00	t	0.00	t	0.00	t	0.00	t
産業廃棄物の種類									
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量		t		t		t		t	t
(これまでに実施した取組)									
・特に実施していない。									
【目標】									
② 計画	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	廃ガラス陶磁器くず	廃蛍光灯				
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.00	t	0.00	t	0.00	t	0.00	t
産業廃棄物の種類									
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		t		t		t		t	t
(今後実施する予定の計画)									
・実施の予定はない。									

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（4年度）実績】									
① 現状	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	廃ガラス陶磁器くず	廃蛍光灯				
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.00	t	0.00	t	0.00	t	0.00	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	55,455.10	t	0.00	t	0.00	t	0.00	t	t
産業廃棄物の種類									
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量		t		t		t		t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量		t		t		t		t	t
(これまでに実施した取組)									
・汚泥は消化、脱水を実施している。									
【目標】									
② 計画	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	廃ガラス陶磁器くず	廃蛍光灯				
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.00	t	0.00	t	0.00	t	0.00	t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	54,756.17	t	0.00	t	0.00	t	0.00	t	t
産業廃棄物の種類									
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		t		t		t		t	t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		t		t		t		t	t
(今後実施する予定の計画)									
・引き続き、汚泥の消化、脱水を実施する。脱水設備では汚泥の含水率が下げられるよう取り組む。									

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（4年度）実績】									
① 現状	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	廃ガラス陶磁器くず	廃蛍光灯				
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t				
	産業廃棄物の種類								
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量									
(これまで実施した取組)									
・特に実施していない。									
【目標】									
② 計画	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	廃ガラス陶磁器くず	廃蛍光灯				
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t				
	産業廃棄物の種類								
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量									
(今後実施する予定の計画)									
・実施する予定はない。									

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（4年度）実績】									
① 現状	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	廃ガラス陶磁器くず	廃蛍光灯				
	全処理委託量	4,474.95 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t				
	優良認定処理業者への処理委託量	261.04 t							
	再生利用業者への処理委託量	4,384.90 t							
	認定熱回収業者への処理委託量								
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量								
	産業廃棄物の種類								
	全処理委託量								
	優良認定処理業者への処理委託量								
	再生利用業者への処理委託量								
認定熱回収業者への処理委託量									
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量									
(これまで実施した取組)									
<ul style="list-style-type: none"> ・汚泥については、新潟県の定めた下水汚泥処分計画に基づく処分業者と書面による契約を実施している。 ・他の産業廃棄物については、処理を委託できる業者を選定し、書面による契約を実施している。 ・最終的な有効利用を図るため、汚泥はできる限り再生利用業者へ処理を委託をしている。 									

① 計画	【目標】									
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	廃ガラス陶磁器くず	廃蛍光灯					
	全処理委託量	4,657.71 t	0.70 t	0.20 t	0.05 t					
	優良認定処理業者への処理委託量	57.71 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					
	再生利用業者への処理委託量	4,600.00 t	0.00 t	0.00 t	0.05 t					
	認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					
	産業廃棄物の種類									
	全処理委託量									
	優良認定処理業者への処理委託量									
	再生利用業者への処理委託量									
	認定熱回収業者への処理委託量									
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量									
	(今後実施する予定の取組)									
	<ul style="list-style-type: none"> 今後も継続して、現状の取り組みを実施する。 可能な範囲で、優良認定処理業者、再生利用業者や熱回収業者に処理を委託する。 									
※事務処理欄										

第 面 について

産業廃棄物処理計画書（集計用シート）

提出者の名称	新潟県知事 花角 英世	提出者の住所	新潟県新潟市中央区新光町4番地1
事業場の名称	信濃川下流域下水道 新津浄化センター	事業場の所在地	新潟県新潟市秋葉区古田ノ内大野開2番地
内容年度	平成 5 年度		

(単位:トン)

廃棄物の種類	現状 ／ 計画	排出量 A	自社内での処理状況				委託先での処理状況				
			自己再生 利用量 B	うち熱 回収量 C	自己中間 処理 減量化量 D	自己最終 処分量 E	全処理 委託量 F	委託処理量のうち委託先毎の量			
								優良認定 処理業者 への処理 委託量 G	再生利用 業者への 処理 委託量 H	熱回収 認定業者 への処理 委託量 I	熱回収 認定業者 以外の熱 回収を行 う業者へ の処理 委託量 J
汚泥	現状	59,930.05	0.00	0.00	55,455.10	0.00	4,474.95	261.04	4,384.90		
	計画	59,413.88	0.00	0.00	54,756.17	0.00	4,657.71	57.71	4,600.00	0.00	0.00
廃プラスチック類	現状	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00				
	計画	0.70	0.00	0.00	0.00	0.00	0.70	0.00	0.00	0.00	0.00
廃ガラス陶磁器くず	現状	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00				
	計画	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00
廃蛍光灯	現状	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00				
	計画	0.05	0.00	0.00	0.00	0.00	0.05	0.00	0.05	0.00	0.00
	現状										
	計画										
	現状										
	計画										
	現状										
	計画										
	現状										
	計画										
	現状										
	計画										
	現状										
	計画										
合 計	現状	59,930.05			55,455.10		4,474.95	261.04	4,384.90		
	計画	59,414.83			54,756.17		4,658.66	57.71	4,600.05		